



## 「年頭にあたり」

細胞検査士会北海道支部 会長 中村厚志

明けましてしておめでとうございます。謹んで新年のお喜びを申し上げます。この新しい年が皆様にとりまして実り多く充実した1年となりますよう心からお祈り申し上げます。平成25年もあつという間の1年でした。北海道内での情報伝達の効率化に向け、役員体制の再構築とホームページの見直しを行いました。事務局長に情報源を一本化し、道内役員への発信を行いました。日本細胞診断学推進協会代議委員会や細胞検査士会役員会、細胞検査士支部代表者委員会などの報告、細胞学会の公益社団法人関連情報などの情報を発信してきました。

また、ホームページ活用による情報提供を目指し、迅速に対応してきました。まだまだ足りない面もあります。皆様の率直なご意見を引き続きお聞かせください。昨年4月にLOVE49街頭啓発活動、9月には札幌臨床検査技師からの協力要請で「検査 de フェスティバル」での細胞検査士アピール活動を皆様の協力のもと行いました。学術的にはプレパラートサーベイ、細胞検査士受験のための講習会、共催事業として実習を含む尿細胞診研修会などを実施、また各地区でも様々な取り組みが行われました。

今年度も残すところ、第26回細胞診従事者講習会のみとなりました。特別講演では防衛医科大学校の津田均先生に「乳癌—コンパニオン診断」と題しご講演をいただきます。また、午後からのシンポジウムでは、4名の細胞検査士に「細胞診—形態学的検索とその発展性への試み」のテーマに沿ってお話をお願いしました。多くの会員の参加をお待ちしております。なお、当日は平成26年度検査士会の総会を開催します。本総会では本会の名称変更と規約改正を議題として提出します。多くの会員の出席で総会を成功につなげたいと思います。日本臨床細胞学会北海道支部も「北海道臨床細胞学会」（理事長に山城勝重先生）と名称変更になりました。昨年は日本臨床細胞学会がNPO法人から公益社団法人へと移行しました。細胞検査士の正会員と準会員、各都道府県臨床細胞学会と公益法人と契約締結によるクレジット取得、細胞検査士の公益社団法人での位置や役割など課題点や疑問点も多くあります。公益社団法人移行に伴って細胞検査士会規約の整備も同時に進んでおり、2月には臨時の検査士会役員会を開催する予定です。これからも公益社団法人並びに細胞検査士会についての情報は逐次、皆様に届けたいと思います。最後になりますが、この1年、充実した有意義な活動を通じて会員皆様に様々な情報や技術提供できるよう行なっております。より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 検査 de フェスティバルに参加協力

札幌臨床検査技師会主催の「検査 de フェスティバル」が昨年9月に札幌駅前通地下歩道空間で開催され、昨年に引き続き細胞検査士会北海道支部も共催し、道央地区会の会員11名が参加協力しました。細胞検査士会は「がんコーナー」を担当し、乳がん模型を使った触診体験やパネルやリーフレットを用い、がん予防の啓発活動と細胞検査士の紹介を行いました。3時間のイベントでしたが、500部のリーフレットとポケットティッシュを配布し、同時に500人に子宮頸部がんに関するアンケートも実施しました。





# 第52回 秋期大会(大阪) 学会見聞録



「第52回日本臨床細胞学会秋期大会見聞録」

北海道大学病院 望月抄苗

今回、11月2日～3日に大阪で行われた細胞学会秋期大会に参加しました。私は細胞検査士の資格を昨年とったばかりで、初めての全国学会参加でした。学会初日は、朝からシンポジウムがあり、「内膜細胞診のPitfalls克服を目指して—悪性との意義が確定できない異型内膜上皮細胞に関する検討を中心に—」という内容でした。今回、私自身の発表はなかったものの、その後に札幌で行われた北海道支部学術集会で内膜細胞診の症例を発表する予定になっていましたので、一番聞きたいと思っていたシンポジウムでした。内容は初めて知った事も多く、とても勉強になり、その時学んだ事を学術集会での発表にも組み込ませていただきました。午後は、学生時代の先輩であり、細胞検査士としても先輩である方の示説発表をこっそり聞いていました。とても堂々とした発表で、その姿を見た時に、次は私もこの場所に立って発表をしよう！と思い、良い刺激になりました。二日目に印象に残っているのは、朝一のシンポジウムです。「非小細胞肺癌の治療戦略と細胞診断」という内容で、勉強になる上に、聞いていて面白いと感じるような内容でした。学ぶ事が多く、充実した学会参加になったのはもちろんですが、勉強以外にも充実しました。あまり多くは語れませんが、大阪と言えば…たこ焼き・お好み焼き・串カツ！全て堪能しました。更に、私の人生において初めてである、なんたらジャパンに足を踏み入れました（合間を縫って少し立ち寄った程度です…）。私以外にも自施設から数人参加していたので、一緒に楽しい時を過ごせましたし、大阪にいる友達にも会え、今思い出しても本当に楽しかったです。次回は、発表する立場として全国学会に参加する事を目標に、日々精進していきたいと思えます。

2013年細胞検査士認定試験合格者

## おめでとう 新たな仲間たち

原田 沙緒李 (札幌総合病理研究所)

河原 真沙実 (札幌臨床検査センター)

松浦 亜希子 (北海道医療センター)

上田 真弓 (PCL札幌)

小野 みゆき (旭川医療センター)

下坂 光生 (日鋼記念病院)

村上 将大 (市立札幌病院)

村田 恵 (市立札幌病院)

山口 まどか (KKR札幌医療センター)

高橋 里実 (北海道消化器科病院)

細胞検査士認定試験合格者から一言

「細胞診試験を終えて」

市立札幌病院

村上 将大

勉強のため日々標本と睨めっこをしていると、逃げ出したくなったり、不安になる時期がありました。そんな時、周りの方々は心配して励まして下さったり、差し入れて下さる方もいて、心強い後押しとなりました。他施設の勉強会においても、様々な方からの指導が刺激となり、そこで培った知識や経験が今回の結果に繋がったと思います。改めて恵まれた環境にいることを確認し、お世話になった方々に、この場を借りて御礼申し上げます。技術を磨き、今後も精進していきますので、どうぞよろしく願いいたします。

「細胞診試験に合格して」

KKR札幌医療センター 山口 まどか

昨年度の入職以来、細胞検査士資格取得に向けてずっと勉強を続けて来ました。先輩方には細胞の見方の基礎の基礎から試験対策、ときには実践的なことまで指導していただき大変お世話になりました。また、一緒に勉強している仲間存在も大きな励みになりました。合格することができたのはこのような周囲からの支えがあったからだと心から感謝しています。これからも日々勉強を重ね、先輩方のような信頼される検査士になれるよう頑張ります。よろしく願いいたします。

## がん診療連携拠点病院強化事業による尿細胞診研修会 終了

1月11日(土)、北海道がんセンター3階大講堂において「尿細胞診研修会」が開催された。講演と実習を内容とした研修会で、参加者65名(実習は51名)が熱心に受講した。北海道がんセンター臨床研究部長 山城勝重先生による司会で進められ、初めに「尿細胞診と低異型度尿路上皮癌」と題し、北海道がんセンターの平紀代美技師による講演があり、続いて「腎盂・尿管・膀胱癌取り扱い規約とその背景」と題して名古屋第二赤十字病院病理診断科部長 都築豊徳先生の講演が行われた。実習は10グループに分かれ、40症例を鏡検し、グループごとに討論してグループごとに診断を行った。各テーブルには症例が入力されたパソコンと顕微鏡がセットされており、他施設の方々と討論して診断を導く手法は斬新で、大変有意義な勉強会であった。最後に本会の中村会長の挨拶で研修会は終了し、その後懇親会が開催された。(文責 野崎)



左から

山城 先生

都築 先生

中村 会長

平 技師

## 各地区会活動報告

### 道央地区会

- 第276回細胞検査士会道央地区例会・総会  
日時:平成25年3月22日  
会場:札幌医科大学附属病院 臨床教育研究棟2階 臨床第一講義室  
総会:平成24年度総会  
講演:腎移植と病理  
講師:市立札幌病院 病理診断科部長 深澤 雄一郎 先生  
参加人数:30名
- 第277回細胞検査士会道央地区例会  
日時:平成25年5月24日  
会場:札幌医科大学附属病院 臨床教育研究棟2階 臨床第一講義室  
症例検討:「脳腫瘍」「体腔液」 札幌東徳洲会病院 青柳瑛子 技師  
「呼吸器」 札幌東徳洲会病院 福田有志 技師  
参加人数:28名
- 第278回細胞検査士会道央地区例会  
日時:平成25年8月3日(土)  
会場:王子総合病院 3階講堂  
講演:「一人病理医による組織診・細胞診 ～術中迅速細胞診の有用性～」  
講師:苫小牧市立病院 病理診断科 竿尾 光祐 先生  
症例検討:「呼吸器」 苫小牧市立病院 大坂 峰司 技師  
「副腎腫瘍」 王子総合病院 小山内 翔祐 技師  
参加人数:29名
- 第279回細胞検査士会道央地区例会  
日時:平成25年10月25日(金)  
会場:札幌医科大学附属病院 臨床教育研究棟2階 臨床第一講義室  
症例検討:「膵臓」 手稲溪仁会病院 中島洋平 技師  
「甲状腺」 手稲溪仁会病院 飯田尚美 技師  
「乳腺」 手稲溪仁会病院 行場真巨 技師  
参加人数:25名
- 第280回 細胞検査士会道央地区例会  
日時:平成26年1月30日(木)  
会場:札幌医科大学附属病院 臨床教育研究棟2階 臨床第一講義室
- 第281回 細胞検査士会道央地区例会・総会  
平成26年3月予定

### 道東地区会

- 細胞診勉強会  
日時:平成25年6月21日  
会場:釧路がん検診センター  
総会:平成24年度総会  
講演:「有機溶剤について」 釧路労災病院 斎藤 隆二 技師  
「当院におけるEUN-FNAについて」 釧路労災病院 中村 明代 技師
- 平成26年2月  
病理専門医による講演会
- 平成26年3月  
細胞診勉強会

### 北見地区会

- 講演会  
日時:平成25年8月17日  
会場:北見プラザホテル  
講演:細胞診異常およびCINの管理におけるHPV検査の意義  
北海道大学大学院医学研究科 教授 櫻木 範明 先生

### 道南地区会

#### 【平成25年活動報告】

- けるんの会総会  
日時:平成25年2月1日(金)午後7時  
会場:湯の川「稜雲亭」  
参加人数:20名
- 第340回けるんの会 症例検討会、持ち寄り  
日時:平成25年2月20日(水)午後6時30分～午後8時30分  
会場:函館市医師会健診検査センター  
症例、出題者:  
(1)(2)子宮内膜、佐々木玲子技師(医師会健診検査センター)  
(3)甲状腺、伊東希美技師(市立函館病院)  
(4)子宮頸部、福田みどり技師(函館五稜郭病院)  
(5)子宮頸部、楨尾幸絵技師(函館中央病院)  
参加人数:12名



3. 第341回けるんの会 症例検討会、医師会健診検査センター担当  
日時:平成25年3月27日(水) 午後6時30分～午後8時30分  
会場:函館市医師会健診検査センター  
症例、出題者:  
(1)(2)子宮頸部、(3)(4)尿、(5)頸部、水上幸子技師  
参加人数:17名
4. 第342回けるんの会 症例検討会、持ち寄り  
日時:平成25年4月17日(水) 午後6時30分～午後8時30分  
会場:函館市医師会健診検査センター  
症例、出題者:  
(1)(2)(3)脳腫瘍、髄液、佐々木玲子技師(函館市医師会健診検査センター)  
(4)乳腺(5)子宮内膜、桜庭博技師(函館五稜郭病院)  
(6)甲状腺、柳川由香技師(函館中央病院)  
(7)(8)(9)(10)(11)陰嚢水腫、秋田陸司技師(市立函館病院)  
参加人数:18名
5. 第343回けるんの会 症例検討会、持ち寄り  
日時:平成25年5月15日(水) 午後6時30分～午後8時30分  
会場:函館市医師会健診検査センター  
症例、出題者:  
(1)口腔底、柴田瑠子技師(市立函館病院)  
(2)子宮内膜、水上幸子技師(函館市医師会健診検査センター)  
(3)腹水・胸水、岡崎光展技師(函館市中央病院)  
参加人数:18名
6. 第344回けるんの会 症例検討会、市立函館病院担当  
日時:平成25年6月26日(水) 午後6時30分～午後8時30分  
会場:市立函館病院  
症例、出題者:  
(1)(2)(3)男性乳腺、秋田陸司技師  
(4)(5)(6)EUS-FNA[膵臓、後腹膜、縦隔]、柴田容子技師  
参加人数:18名
7. 第345回けるんの会 症例検討会、持ち寄り。講習会参加  
日時:平成25年7月17日(水) 午後6時30分～午後8時30分  
会場:函館市医師会健診検査センター  
症例、出題者:  
(1)腹腔洗浄液、桜庭博技師(函館五稜郭病院)  
(2)胸水、佐々木玲子技師(函館市医師会健診検査センター)  
(3)男性乳腺、伊東希美技師(市立函館病院)  
講習会参加報告、報告者:  
第175回北臨技講習会「病理技術者の匠Part7」、  
横尾幸絵技師(函館中央病院)  
参加人数:13名
8. 第346回けるんの会 症例検討会、函館中央病院担当  
日時:平成25年8月21日(水) 午後6時30分～午後8時30分  
会場:函館市医師会健診検査センター  
症例、出題者(細胞検査士受験生、細胞検査士比較的初心者)  
(1)(2)子宮頸部、佐々木淳貴技師[臨床検査技師]  
(3)(4)導尿管、子宮頸部・内膜、柳川由香技師  
(5)(6)胸水、自排尿、岡崎光展技師  
参加人数:13名
9. 第347回けるんの会 症例検討会、持ち寄り  
日時:平成25年9月18日(水) 午後6時30分～午後8時30分  
会場:函館市医師会健診検査センター  
症例、出題者:  
(1)気管支擦過、佐々木玲子技師(函館市医師会健診検査センター)  
(2)気管支擦過、秋田陸司技師(市立函館病院)  
(3)下部胆管擦過、岡崎光展技師(函館中央病院)  
参加人数:17名
10. 第348回けるんの会 症例検討会、函館五稜郭病院担当  
日時:平成25年10月16日(水) 午後6時30分～午後8時30分  
会場:函館市医師会健診検査センター  
症例、出題者:  
(1)胸水(2)腹水、桜庭博技師  
(3)耳下腺(4)乳腺、阿部千明技師  
参加人数:13名
11. 第349回けるんの会 症例検討会、持ち寄り  
日時:平成25年11月20日(水) 午後6時30分～午後8時30分  
会場:函館市医師会健診検査センター  
症例検討:  
(1)縦隔リンパ節、柴田瑠子技師(市立函館病院)  
(2)腹水、水上幸子技師(函館市医師会健診検査センター)  
(3)男性乳腺、柳川由香技師(函館中央病院)  
参加人数:18名  
【平成26年活動計画】  
1. けるんの会総会および新年会  
日時:平成26年1月17日(金)午後7時  
会場:ウイニングホテル  
2. 第350回けるんの会 症例検討会、持ち寄り  
日時:平成26年2月19日(水) 午後6時30分～午後8時30分  
会場:函館市医師会健診検査センター  
3. 第351回けるんの会 症例検討会、函館市医師会健診検査センター担当  
日時:平成26年3月19日(水) 午後6時30分～午後8時30分  
会場:函館市医師会健診検査センター  
4. 第352回けるんの会 症例検討会、持ち寄り  
日時:平成26年4月16日(水) 午後6時30分～午後8時30分  
会場:函館市医師会健診検査センター  
5. 第2回函館東北病理カンファレンス(第353回けるんの会)  
日時:平成26年5月31日(土)午後15時～午後18時(予定)  
会場:国立病院機構函館病院  
講演会:「軟部腫瘍の細胞診(仮題)」  
渡辺みか 先生(東北大学病院病理部副部長・准教授)  
「神経内分泌腫瘍の細胞診(仮題)」  
笠島 敦子 先生(東北大学病院病理部助教)  
症例検討:4症例  
6. 第354回けるんの会 症例検討会、市立函館病院担当  
日時:平成26年6月18日(水) 午後6時30分～午後8時30分  
会場:市立函館病院

## 今後の予定

- 平成26年3月2日(日)  
札幌医科大学記念ホール (右記)  
第26回細胞診従事者講習会  
細胞検査士会北海道支部総会

- 「画像と細胞診」ワークショップ 札幌  
日程・会場 調整中

- 第55回春期大会(横浜)  
平成26年6月5日(木)～7日(土)  
パシフィコ横浜

- 第53回秋期大会: 山口県下関市
- 第56回春期大会: 鳥取県
- 第54回秋期大会: 愛知県

## 第26回 細胞診従事者講習会プログラム

趣 旨: 細胞診に従事する者の技術向上を図ることを目的とする。

報 告 『第20回プレパラートサーベイについて』 9:30~10:00  
報告者 NTT 東日本札幌病院 小松 健一郎 技師  
座 長 細胞検査士会北海道支部 学術委員長 森谷 純 技師

特別講演: 「乳癌-コンパニオン診断」 10:00~11:30  
講 師: 防衛医科大学校 病態病理学講座教授 津田 均 先生  
座 長: 細胞検査士会北海道支部 会長 中村厚志 技師  
(昼休み 11:30~12:30)

細胞検査士会北海道支部役員会 11:30~12:30  
細胞検査士会北海道支部総会 12:30~13:00

シンポジウム「細胞診-形態学的検索とその発展性の試み」 13:00~16:00  
司 会: 北海道がんセンター 臨床検査科 平 紀代美 技師  
1) 「非小細胞肺癌における免疫細胞化学法を用いたEGFR検索の臨床応用」  
北海道大学病院病理部 森谷 純 技師  
2) 「乳癌細胞診における癌幹細胞マーカー染色の診断的有用性  
~液状検体を利用して~」  
札幌医科大学付属病院病理部 浅沼 広子 技師  
3) 「抗癌剤感受性試験やリンパ腫関連検査における細胞診の応用」  
市立函館病院中央検査部 高橋 一人 技師  
4) 「細胞診の未来予想図」  
久留米大学病院病理部 河原 明彦 技師

日 時: 平成26年3月2日(日) 9:30~16:00  
会 場: 札幌医科大学臨床教育研究棟1階 臨床大講堂  
札幌市中央区南1条西16丁目 (TEL: 011-611-2111 内線4933)  
受講料: 2000円

主 催: 日本臨床細胞学会細胞検査士会北海道支部  
共 催: 北海道 北海道臨床細胞学会  
後 援: 日本病理学会北海道支部 北海道臨床衛生検査技師会

<編集後記> 学会も公益社団法人となり、日本臨床細胞学会北海道支部も総会で北海道臨床細胞学会になりました。細胞診資格更新の単位も変更になっています。細胞検査士会の支部会も全国的に変わりつつあります。ホームページなどを活用して最新の情報を入手して、会員お互いに声掛け合い内容を確認し、共有して行きましょう。本年も宜しくお願い致します。(野崎)